



令和2年11月30日

とべだより

12月号

横浜市立戸部小学校

戸部小の最高学年

学校長 保科 優子



11月は、大きな行事が二つありました。

一つは、日光修学旅行。2日（月）、3日（火）に一泊二日で行って来ました。初日は、時折小雨が降っていましたが、見事な紅葉の中、華厳の滝を見たり、戦場ヶ原を歩いたりしました。夜はキャンドルファイヤーをして、大いに盛り上がりました。二日目は東照宮等の見学。休日のため混んでいましたが、子どもたちは、グループで協力して見学し、集合時間には全てのグループが集合場所に集まるなど、6年生としてしっかりと行動していました。この二日間、6年生は、盛り上がる時は盛り上がり、ルールを守るべきところではしっかり守るなど、節度をもって行動している姿がたくさん見られました。そのおかげでしょうか。参加者全員が元気に過ごすことができ、とても楽しい二日間になりました。

もう一つは、「とべとべコンサート2020」。19日（木）にリハーサル。20日（金）に本番を行いました。今年のスローガンは「心を一つに 戸部魂メロディー」でした。どの学年もこのスローガンに向けて、本気で練習していました。その成果が出て、リハーサルも本番も素晴らしい演奏を披露してくれました。保護者の方にはリハーサルしか見ていただくことができませんでしたが、本番も子どもたちは、演奏はもちろん、聴いている姿もとても素敵でした。

この「とべコン」の開催にあたり、6年生の代表と「大人子ども会議」をしました。6年生は、各クラスで話し合い、様々なアイデアをもって、会議に出席しました。その中で、終始子どもたちが語っていたのが、「『とべコン』で大切なのは、みんなが一つになること。例え、全員が体育館に集まることができなくても、一つになるためにできることはたくさんある。」ということでした。練習の演奏を2学年ごとで聞き合い、アドバイスをし合うことや、本番後にペア学年の人に感想を伝えるという取組は、6年生から出たアイデアです。大人の前で、クラスの考えや自分の意見を堂々と語る姿はとても立派でした。2部制で行った今年の「とべコン」でしたが、学校中が一つになっていることを感じることができました。今年の6年生は、縦割り活動や集会等がほとんどできないため、下級生に頑張っている姿を直接見てもらう機会は少ないのですが、戸部小最高学年として様々なところで頑張っています。

令和2年は、「コロナのせい」でなかなか思うようにいかないことも多かったのですが、そんな中、「コロナだったからこそ」の姿をたくさん見ることができました。それは、保護者・地域の皆様にたくさん支えていただき温かい応援をいただいているからこそです。皆様の真心、ご協力に対し、敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

皆様、本年も大変お世話になりました。どうぞ、新年を健やかに迎えください。